

貴重なシダローズでブローチ



6月22日(水)、化石と自然の体験館でヒマヤスギの実を使ったブローチ作りを行いました。参加者6人は気に入った実を選び、色を塗り、ビーズ等を接着しオリジナルのブローチを作りました。

参加者から「貴重なシダローズでブローチが作れるのはうれしい」「楽しくてあっという間だった」などの感想がありました。



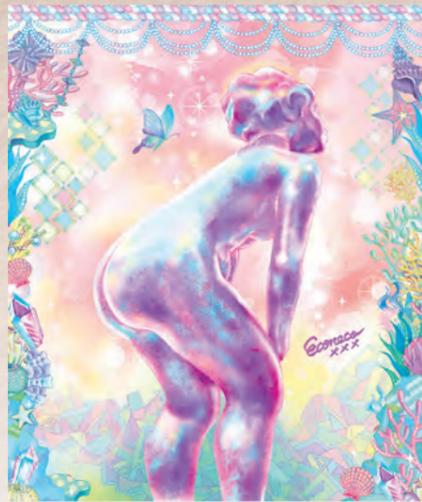
トウキョウサンショウウオ保全活動



7月5日(火)、県子ども動物自然公園内で桜山小学校4年生52人が、トウキョウサンショウウオの放流を行いました。トウキョウサンショウウオの保全活動の一環として、子ども動物自然公園から提供された卵を育て、体長2~3センチメートルに成長したトウキョウサンショウウオを園内の生息地に放流しました。手で直接触れてサンショウウオの体を傷つけないように、羽を使ってひとり2匹ずつ放流しました。



絵子猫さんが描く 高坂彫刻プロムナード



まちかぞえ スケッチ

この広報紙にあなたが写ってましたら広報広聴課へご連絡ください。写真をさしあげます。



高田博厚作「海」

生涯学習課 ☎21-1431 ☎23-2239
生涯学習課は市の文化芸術活動を推進しています。

カブトムシをつくろう!&動物の親子かるた



7月3日(日)、熱中症対策のため、会場を大岡コミュニティセンターに変更して「カブトムシをつくろう!」を開催しました。参加した子どもたちは、丸太の輪切り等の木材を使って、かわいいカブトムシを作りました。

「動物の親子かるた」では親子の組み合わせになるカードをめくる神経衰弱型ゲームを楽しみました。



えんじょいスポーツ

ドッジボール



埼玉フォルティスの皆さん

市内で小学生を対象に活動しているドッジボールクラブ「埼玉フォルティス」を紹介します。

埼玉フォルティスは、2018年に創立され、現在は小学1~6年生の27人が所属し、毎週土・日曜日に市内の中学校の体育館で活動しています。

3月27日(日)に開催された、ジュニア部門(1~4年生の構成)の中で最上位の大会である、第2回関東ジュニアドッジボール選手権大会では、見事優勝を果たしました。また、6月25日(土)の県大会では



チャンピオンリーグ部門(3~6年生の構成)において準優勝と、多くの優秀

な成績を収めています。

ドッジボールの公式戦は1チーム12人が基本とされ、1試合の時間はわずか5分です。限られた時間の中で最大の力を発揮できるよう、普段から実践を意識しながら練習しています。練習中は全員で声を掛け合いながら、元気よく活動している様子が印象的でした。

コーチの高澤さんは「勝敗も大事だが、競技を通じて、仲間とのコミュニケーションや助け合うことの大切さを学んでもらえるように意識して指導をしています」と話してくれました。

次はチャンピオンリーグ部門において、全国大会につながる県大会が行われます。6年生でキャプテンの齋藤選手は「大会に向けて、今はボディキャッチ(体全体でボールを取ることを強化しています。県大会では優勝し、全国大会への切符をつかみ取りたい)」と意気込みを話してくれました。

埼玉フォルティスの皆さん、次の大会でもチーム一丸となって頑張ってください。



埼玉県子ども動物自然公園
動物ZOO鑑
~園長おすすめ スナネコ~



小さい猫に大きなトイレ

6月末「スナネコ」が仲間入りしました。アフリカの砂漠に暮らすスナネコは、砂色の体に茶色いラインが少し入った小さな猫です。熱い砂の上でも歩けるように足の裏にも毛が生えています。体重は2キログラムほどでイエネコよりもさらに小さくかわいらしいのですが、スタッフが近づきすぎるとものすごい形相でシャー!と威嚇をします。野生では小型の動物、トカゲやネズミを餌としますが、砂漠にすむ毒ヘビも秒殺で仕留めるほどワイルド。来園者からは「あら、かわいいニャンコ」という声が聞こえますが、飼育担当者は、皆さんが思っている以上に緊張感をもって世話をしています。

スナネコの展示場には、高さのある擬岩(*)や木を何本か立て掛けてあり、縦の空間も有効に使えるようにしてあります。高い所に上がり、こちらを見下ろせるようにすることでストレスをできる限り少なくするためです。私達も大きな人から見下ろされたら威圧感でちょっと嫌ですね。他にも植物を植えたり、隠れられる場所などを数か所用意し、砂漠のように床には一面砂を敷きつめました。高い所から降りた時や万が一誤って落ちた時のクッションにもなります。しかし…この砂に誤算が。そうです、猫を飼っている方ならお気づきでしょう。床の砂はトイレの砂になってしまったのです。市販のネコ用トイレを使っていたにもかかわらず、彼らは地面の大きなトイレを選んでしまいました…。

*擬岩とは、自然の岩などに模して造った人工の岩



砂色の体に茶色いしま模様



小さいけれど肉食獣



敷いた砂がトイレになっている瞬間

ミニミニ情報

人口と世帯(7月1日現在)

人口: 90,623人	(+ 89)
男: 45,552人	(+ 39)
女: 45,071人	(+ 50)
出生(6月中): 44人	(- 1)
死亡(6月中): 76人	(- 7)
転入等(6月中): 373人	(+ 2)
転出等(6月中): 252人	(- 29)
世帯数: 42,094世帯	(+ 92)

* ()は前月比

交通事故発生件数(6月中)

発生件数: 341件*	
人身事故: 28件(死者: 1人、けが人: 36人)	
物損事故: 313件	
*東松山警察署管内(東松山市・滑川町・川島町・吉見町)の件数	
火災と救急件数(6月中)	
火災件数: 1件	
救急件数: 445件(交通: 14, 急病: 292, その他: 139)	
搬送人員: 361人	

市内の空間放射線量測定結果

市内34か所で空間放射線量を定期的に測定しています。
7月の測定においても、基準値を下回っています。
測定結果の詳細は、市HPに掲載しています。
☎環境政策課 ☎63-5006 ☎23-7700

